令和4年度 第2回千曲市教育振興審議会 次第

期日: 令和4年9月26日(月)午前9時00分

場所:千曲市役所 301 会議室AB

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 会議事項
 - (1)令和3年度事業実績の説明及び意見・提言の聴取

【教育総務課】

- ① 情報教育センター事業 (GIGA スクール構想)
- ② 高校再編

【生涯学習課】

- ③ 生涯学習推進事業
- ④ 更埴図書館復旧事業
- ⑤ 多文化共生・東京オリンピックホストタウン事業

【文化課】

⑥ 更埴文化会館施設災害復旧事業

【歴史文化財センター】

- ⑦ 名勝姨捨整備事業
- ⑧ 松田家資料整備事業
- ⑨ 重要伝統的建造物群保存推進事業

【スポーツ振興課】

- ⑩ 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
- ① 長野地域連携中枢都市圏スポーツ分野連携事業
- ② 社会体育施設耐震化事業

【第1学校給食センター】

- ③ 給食センター管理運営事業
- ⑪ 学校給食費徴収事務事業

【第2学校給食センター】

⑤ 給食センター管理運営事業

(2) その他

5 閉 会

千曲市教育振興審議会委員

(敬称略)

- 4	CT TEN Sets	(4)X(1)44(1)
氏 名	役 職 等	備考
宮﨑 樹夫	【会長】信州大学副学長	(学識経験者)
飯島 稔	千曲市校長会 会長	(上山田小学校長)
小林 克浩	中学校長 代表	(更埴西中学校長)
唐木 文子	【幹事】更埴PTA連合会 副会長	(更埴西学校PTA)
瀧澤 健太	更埴PTA連合会 副会長	(八幡小学校PTA)
坂田 博	千曲市公民館運営協議会 会長	(生涯学習推進団体)
塚田 訓好	特定非営利活動法人 千曲市スポーツ協会 会長	(スポーツ振興団体)
亀山 正明	千曲市文化芸術協会 会長	(文化振興団体)
久保田 英雄	元県生涯学習文化財課指導主事	(歴史文化学識経験者)
君島 一宇	【副会長】一般公募	(公募)
滝沢 祐子	一般公募	(公募)
田島 仁	【幹事】一般公募	(公募)

(任期:令和4年7月29日~令和4年10月31日)

事務局: 教育部長 島田 栄一

生涯学習課長 宮坂 敏

文化課長 湯井 勉

第1給食センター所長 林 欣克

教育総務課 総務係長 小林 永典

教育総務課長 小岩 多美子 スポーツ振興課長 町田 博

歴史文化財センター所長 稲玉 修治 第2給食センター所長 相沢 賢一

事業名 情報教育センター事業 (GIGA スクール構想)

担当課名

教育総務課

教育振興基本計画 基本目標 I 施策 1-1

事業費 決 算 額(円) 15, 877, 510 節別内訳(円) 報酬 給料、 5, 952, 100 職員手当等 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 1,826,000 使用料及び 8,099,410 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	2, 444, 383
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	13, 433, 127

扶助費

公課費

補償、補填

及び賠償金

主要な施策の成果等

【事業目的】

ソサエティ 5.0 の未来社会に向けて、子どもたちが情報や ICT機器を有効に、安全に活用する「情報活用能力」を育む ため、GIGA スクール構想において整備された一人一台端末 を活用し協働的な学びを推進するとともに、個別最適な学習 環境を整備する。

【実績】

市内全小中学校に無線ネットワーク環境を整備し、一人一台端末の活用を年度当初から開始した。

【成果等】

市内全 13 校にて、授業中の端末活用はもとより、自宅に (端末を) 持ち帰り、家庭学習で活用する事例も増えてきて いる。

また、オンライン授業ができる環境が整備されたことにより、コロナ禍で学校休業や学級閉鎖となっても、授業を止めることなく、学びを進めることができた。

【今後の方向性】

一人一台端末の活用機会拡大に伴い、児童生徒への情報モラル教育を推進していく。

また、課題である端末の修繕に係る費用の確保及び、機器更新に係る財源の確保について研究に努める。

事業名 高校再編 担当課名 教育総務課

基本目標I 施策 1-1

事業費 決 算 額(円) 【事業目的】 373, 462 節別内訳(円) 報酬 292, 598 続・発展させる。 給料、 59, 564 職員手当等 報償費 【実績】 21,300 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	373, 462

主要な施策の成果等

長野県による高等学校再編成の対象となる「屋代南高校」 について、県に働きかけを行い、「多部制・単位制高校」に 転換し、多様な学びを提供できる高校として、引き続き存

- ●第2期高校再編に係る屋代南高校の存続・発展に係る取組
- ■旧第4通学区(長野市南部・千曲市・坂城町) 高校の将来像 を考える地域の協議会への参画
- *千曲市関係委員 市長、教育長、商工団体、JA、校長会、
- ○意見提案書(素案)の審議 ⑥5/11 (火) ⑦5/31(月)
- ○住民意見募集 6/21(月)~7/20(火)
- ○意見提案書の確定 (87/29(木)
- ○県教委へ意見提案書の提出 8/24(火)
- ■屋代南高校を発展させる会の開催
- ○県教委に対し「地域協議会」での議論を踏まえた「屋代南 高校の学校転換について」の提案要望書の提出
- ○提案要望書の素案審議、確定
- ・総会 5/7 (金) ・臨時総会 7/28 (水)
- ○県教委へ提案要望書の提出 9/15(水)
- ○今後の活動方針の確認等
- ・報告会 11/22(月) · 臨時総会 2/25(金)

【成果等】

2/25 の臨時総会において「たとえ学校名が変わったとし ても、何らかの形で、今ある場所に学校を残すための活動を 続ける」という決議に至った。

- 県教委が公表する「第三次高校再編・整備計画(案)」の内 容を検証。
- ○県教委が開催する住民説明会等の市民への周知。
- ○屋代南高校を発展させる会を中心とした継続的な県教委 への高校存続の働きかけ。

事業名 生涯学習推進事業 担当課名 生涯学習課

基本目標 I 施策 2-1

事業費		
決 算	額(円)	
	41, 965, 033	
節 別	内 訳(円)	
幸民酉州	1, 007, 640	
給料、 職員手当等	21, 212, 061	
報償費	4, 091, 777	
旅費	24, 000	
需用費	3, 561, 865	
役務費	487, 373	
委託料		
使用料及び 賃借料	13, 200	
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費	11, 567, 117	
負担金、補助 及び交付金		
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	
県支出金	274, 000
地方債	
その他	1, 747, 100
一般財源	39, 943, 933

主要な施策の成果等

【事業目的】

すべての市民が生涯にわたる学びをとおして地域を考え、 千曲市に対する深い理解を基本に、よりよいまちを創るため の行動につなげていく。

【実績】

青少年を対象とした体験や知識習得の場の提供を20回実施し、延830人が参加した。

主として成人を対象とした知識習得と人との交流の場の 提供として567回の講座を実施し、延8,042人が参加した。 公民館、大池自然の家にWi-Fiを設置し、学習環境の整備を 行った。

【成果等】

新型コロナウイスの影響により、参加者が多い運動系の講座は中止した。

各種教室・講座においては参加者の人数を制限し、安全に 実施できる体制をとり、開催回数を極力変えずに実施した。

コロナ禍ではあるものの、学びの場を閉ざすことなく生涯 学習の場を提供し、市民の学習意欲の向上が図られた。

【今後の方向性】

新しい生活様式により、学びの場のスタイルを変えることが必要であり、第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画において目標としている各項目の実践形式を確立し、引き続き市民の「学ぶ力」を引き出していく。

事業名	更埴図書館災害復旧事業	担当課名	生涯学習課
T /N 1		1——HVIV II	

基本目標 I 施策 2-1

事業費		
決 算	額(円)	
	3, 152, 800	
節 別	内訳(円)	
幸促酉州		
給料、 職員手当等	1, 623, 300	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費	576, 400	
委託料	224, 400	
使用料及び 賃借料	2, 352, 000	
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金		
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3, 152, 800

主要な施策の成果等

【事業目的】

元の図書館の災害復旧工事を実施する間、隣地の旧ちくま 農協杭瀬下支所を賃借して仮設図書館を設置し、図書館サー ビスの継続に努めた。

【実績】

- ○仮設図書館の敷地・建物の賃借【賃借料】
- ○図書館システム、複合機、電気温水器の移転【役務費】
- ○仮設図書館の警備委託【委託料】

【成果等】

令和3年度も図書館サービスを継続し、年度末の再移転作業もスムーズに実施でき、開館予定の令和4年4月3日に元の図書館を無事再開館できた。

【今後の方向性】

今後の災害発生を未然に防ぐため、止水板設置の訓練が必要。

事業名

多文化共生・東京オリンピックホスト タウン事業

担当課名

生涯学習課

基本目標 I 施策 3-1

事業費 決 算 額(円) 3, 141, 785 節別内訳(円) 報酬 339,650 給料、 2, 164, 400 職員手当等 報償費 旅費 需用費 216,043 役務費 10,890 委託料 375, 502 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 35, 300 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3, 141, 785

公課費

主要な施策の成果等

【事業目的】

外国籍市民を特別視せず、日本人との相互理解を深め、すべての国籍の市民が地域の一員として生活できる多文化共生の街を造る。

ホストタウンとしての国際交流を推進し、市民の国際意識 を高める。

【実績】

多文化共生として、外国人を対象とした言葉の学習と日本の習慣の知識習得の日本語教室を34回実施し、延41人が参加した。

また、外国人のためのネットワークづくり、人づくりのための事業をNPO法人千曲国際交流協会と協働により行った。

東京オリンピックホストタウン事業は、相手国であるハンガリー卓球連盟から事前合宿中止の申し入れがあり、交流事業の実施にはいたらなかった。

選手を応援するため、4年生以上の児童生徒が作成した応援メッセージ付千羽鶴7,200羽を市内就労支援施設が、千羽に東ね贈呈した。

また、ハンガリーの食文化を知るための機会として学校給食にてスープ等を提供した。

その他、屋代南高校ライフデザイン科と富士見高校園芸部 とのコラボにより、選手のための食メニューを考案するプロ ジェクトへ参加した。

【成果等】

協働により外国籍市民のネットワークづくりの、足がかり ができた

オリパラについては、新型コロナウイルスの影響により、 交流イベント等は中止となったが、児童生徒を通じホストタ ウンであることをアピールできた。

【今後の方向性】

外国人が抱えている悩みや、相談を把握することの課題がある、協働事業2年目となることから、さらに研究を行う。 ホストタウン事業については、今後も音楽や文化を紹介するイベント等を実施していく。

事業名 更埴文化会館施設災害復旧事業 担当課名 文化課

基本目標 I 施策 2-3

事 業 費			
決 算 額 (円)			
	766, 591, 324		
節別	内 訳(円)		
幸促酉州			
給料、 職員手当等	2, 705, 500		
報償費			
旅費			
需用費			
役務費			
委託料	15, 510, 000		
使用料及び 賃借料			
工事請負費	747, 276, 000		
原材料費			
公有財産 購入費			
備品購入費	406, 824		
負担金、補助 及び交付金	693, 000		
扶助費			
補償、補填 及び賠償金			
公課費			

財源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	732, 305, 000
その他	
一般財源	34, 286, 324

主要な施策の成果等

【事業目的】

令和元年東日本台風により被災した更埴文化会館の施設 機能復旧。

【実績】

① 更埴文化会館施設災害復旧工事監理業務委託

契約: 令和3年2月4日 契約額: 15,510,000円

受注者:株式会社アーキプラン

工期:令和3年2月4日~令和4年1月31日 ② 更埴文化会館施設災害復旧 建築主体工事 契約:令和3年2月3日(変更:R3.11.29) 契約額:299,057,000円(当初:294,800,000円)

受注者:中信建設株式会社

工期: 令和3年2月3日~令和4年1月28日 ③ 更埴文化会館施設災害復旧 機械設備工事 契約: 令和3年2月3日(変更: R3.11.29)

契約額: 474, 199, 000 円(当初: 472, 780, 000 円) (中間前払: 94, 500, 000 円、精算払: 190, 699, 000 円)

受注者:株式会社石井工務所

工期:令和3年2月3日~令和4年1月28日 ④ 更埴文化会館施設災害復旧 電気設備工事

契約: 令和3年2月3日 (変更: R3.11.25)

契約額: 271,700,000 円

(中間前払:54,340,000円、精算払:108,680,000円)

受注者:株式会社峰村電気商会

工期:令和3年2月3日~令和4年1月28日

⑤ 更埴文化会館 ジェットヒーター購入

契約:令和4年3月10日

契約額: 406,824円

受注者: リオン熱学株式会社 長野支店

納入期限:令和4年3月29日 ⑥ 県営水道加入金:693,000円 ・長野県企業局 川中島水道管理事務所

【成果等】

工事は予定通りに完了。災害復旧に加えて、一部設備の改修を行った。

【今後の方向性】

建築から30年以上経過しており、今後も計画的に修繕や 改修を進める。

事業名 名勝姨捨整備事業 担当課名 歴史文化財センター

基本目標Ⅱ 施策1-1

事業費		
決 算	額 (円)	
	3, 469, 050	
節別	内 訳(円)	
幸足酉州		
給料、 職員手当等	3, 246, 600	
報償費	122, 050	
旅費	100, 400	
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金		
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		

財源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3, 469, 050

主要な施策の成果等

【事業目的】

・日本遺産の主要な構成文化財であり、名勝並びに重要文 化的景観に指定されている「姨捨の棚田」での耕作を維 持、保存するための整備を行う。

【実績】

- ・整備の基本構想である「姨捨の棚田」整備計画を策定するため、有識者・地元関係者で組織した整備委員会を2回開催した。
- ・日本遺産説明会に併せ、整備計画策定について地区住民 や耕作者に説明を行った。
- ・文化庁との協議を5回行い、計画案の内容、体裁について指導を受けた。
- ・関係各課と随時調整を行い、計画案の作成を行った。

【成果等】

- ・令和4年3月22日開催の第2回姨捨の棚田整備委員会において、整備計画案について承認をいただいた。
- ・ 令和4年3月30日に文化庁との協議を終え、「姨捨の棚田」 整備計画を策定した。

【今後の方向性】

・姨捨の棚田での耕作を維持し、日本遺産の構成文化財と して保存・活用を図るため、関係各課と連携し、整備計 画に基づいた事業を実施していく。

事業名 松田家資料整備事業 担当課名 歴史文化財センター

基本目標Ⅱ 施策1-1

事業費 決算額(円) 159, 119, 778 節別内訳(円) 報酬 給料、 3, 787, 700 職員手当等 報償費 46, 300 旅費 16,920 需用費 593, 420 役務費 139, 363 委託料 8, 129, 595 使用料及び 18, 480 賃借料 146, 388, 000 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	2, 000, 000
一般財源	157, 119, 778

主要な施策の成果等

【事業目的】

- ・日本遺産の構成文化財の一つでもある松田家の建物等を 整備し、松田家に伝わる史料を広く公開し活用を図る。
- ・長野県史跡等に指定されている松田家を博物館施設として整備することにより、八幡地区活性化並びに市民の文化財保護意識の啓発を図る。
- ・千曲市歴史的風致維持向上計画の重点地区として、歴史 的環境の整備を行う。

【実績】

- ・平成29年9月の火災により焼損した松田家主屋等の修理 工事を令和2~3年度債務負担事業として実施し、令和 3年12月にしゅん工した。
- ・松田家整備委員会を開催し、令和4年度中の博物館施設 として開館に向け、展示方針・管理運営方針について検 討を行った。

【成果等】

・松田家主屋等修理工事のしゅん工により、博物館施設と して令和4年度中に開館できる見込みとなった。

- ・令和4年度中の一般公開に向け、施設名称、管理体制の 検討を行う。また、防災設備や展示・外構工事を行い、 開館準備を加速する。
- ・千曲市歴史的風致維持向上計画に基づき、重点地区である松田家周辺の環境整備を進める。

事業名 重要伝統的建造物群保存推進事業 担当課名 歴史文化財センター

基本目標Ⅱ 施策1-1

事業費 決 算 額(円) 13, 892, 237 節別内訳(円) 報酬 50, 400 給料、 2, 164, 400 職員手当等 報償費 24, 437 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 306,000 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 11, 347, 000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	4, 098, 000
県支出金	245, 000
地方債	
その他	
一般財源	9, 549, 237

主要な施策の成果等

【事業目的】

- ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された、稲荷山地区 の伝統的な建造物等の修理、修景事業に補助を行い、環 環整備を図る。
- ・稲荷山地区活性化の拠点となる施設の整備に向け、稲荷山伝統的建造物群保存地区全体の整備計画を策定する。

【実績】

- ・伝統的建造物等の修理事業として、大内家主屋等、3件の事業に補助を行った。
- ・環境整備のため、非伝統的工作物1件の新築修景事業に 補助を行った。
- ・全体計画の策定事業は、コロナ禍や上位の法定計画である千曲市文化財保存活用地域計画の策定を優先したため、 策定に至らず、令和4年度に策定することとした。

【成果等】

- ・修理修景事業の実施により、伝統的な建造物が本来の 姿を取り戻し、地区の環境整備に寄与した。
- ・平成27年度から実施してきた本事業による修理修景物件は延べ17件(21事業)となった。

- ・重伝建地区の環境整備を図るため、引き続き伝統的建造 物等の修理修景事業を進める。
- ・稲荷山地区の活性化を図るため、地区住民の意見を反映 した全体整備計画を策定し、この整備計画に基づく事業 の展開を行う。

事業名

第82回国民スポーツ大会・第27回全 国障害者スポーツ大会

担当課名

スポーツ振興課

基本目標 I 施策 2-2

事業費 決 算 額(円) 1, 310, 360 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,082,200 職員手当等 報償費 旅費 需用費 228, 160 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 310, 360

公課費

主要な施策の成果等

【事業目的】

第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会において、ハンドボール、新体操、ボッチャ競技が千曲市で行われることから、大会開催に向け各競技団体、スポーツ関係団体と連携し、体験会等を通じ大会への関心と周知を図る。

【実績】

北信越国体ハンドボール競技大会が千曲市で開催された ことから、県ハンドボール協会と連携しことぶきアリーナ千 曲において開催した。

ボッチャ競技の審判員講習を県ボッチャ協会と連携し、6 月、7月、11月の3回開催し、県内から延べ103名が参加し 競技の啓発を図った。

新体操の発表会を2月に県体操協会と計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

【成果等】

北信越ハンドボール競技大会が開催されたことにより、市 民への周知、気運醸成及び各競技団体との連携強化が図られ た。

ボッチャ競技においては、大会に向けた機運醸成及び各競技団体との連携強化が図られた。

令和3年の各種競技の実施により、国体等における競技実施における課題等が把握された。

【今後の方向性】

国民スポーツ大会開催に向け、競技施設の施設整備、準備 委員会・実行委員会の設置、競技役員・ボランティアの養成、 リハーサル大会の開催・運営等、準備業務が多岐にわたるこ とから、業務量の増加が予想される。

大会準備室の設置など運営体制の強化を図る必要がある。

事業名

長野地域連携中枢都市圏スポーツ分野連携事業

担当課名

スポーツ振興課

基本目標 I 施策 2-2

事業費 決 算 額(円) 1, 393, 300 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,082,200 職員手当等 報償費 旅費 需用費 役務費 55,000 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 256, 100 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 338, 300

公課費

主要な施策の成果等

【事業目的】

長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業の取り組みとして、地域密着型プロスポーツチームを支援し、長野市と連携しながら、スポーツを通じた地域活性化を進める。

【実績】

○千曲市地域密着型プロスポーツチーム応援バス事業 (AC 長野パルセイロ)

実施日:令和3年12月5日(日) 実施回数:1回 参加者:59名

○信州ブレイブウォリアーズ

シーズンの千曲市初戦 (令和3年10月27日) において応 援広告を掲出

○「全国中学生スケート大会」(1/29~2/1) の学校観戦 →新型コロナウイルス感染拡大のため中止

【成果等】

地域のプロスポーツチームとの交流を深めるとともに、スポーツを通して地域活性化を図った。

【今後の方向性】

新型コロナウイルス感染拡大により、会場に足を運び、応援する機会が減り、今年度は実績が少なかったが、引き続き、長野市やプロスポーツチーム等関係機関と連携を密にしながら支援を行い地域活性化に努める。

スポーツ振興課 事業名 社会体育施設耐震化事業 担当課名

基本目標I 施策 2-2

主要な施策の成果等 事業費 決 算 額(円) 【事業目的】 6,621,500 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 705, 500 職員手当等 【実績】 報償費 旅費 スト調査業務。 ○勤労者体育センター非構造部材耐震診断業務 需用費 契約日 令和3年9月15日 役務費 契約額 2,178,000円 委託料 3,916,000 受託者 ㈱竹村建設設計事務所 使用料及び 履行期間 令和3年9月15日~12月23日 賃借料 工事請負費 契約日 令和3年12月17日 原材料費 契約額 1,320,000 円 公有財産 受託者 宮下一級建築設計事務所 購入費 履行期間 令和3年12月17日~令和4年3月25日 備品購入費 負担金、補助 ○勤労者体育センターアスベスト調査業務 及び交付金 令和4年1月18日 契約日 扶助費 契約額 418,000 円 受託者 補償、補填 履行期間 令和4年1月18日~2月9日 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	3, 400, 000
その他	
一般財源	3, 221, 500

社会体育施設は、地域住民のスポーツに親しむ場として、 災害時には避難所として利用される場であることから、非構 造部材を主とした耐震化を進め、利用者の安全を図る。

耐震化工事に向けた耐震診断業務、実施設計業務、アスベ

○勤労者体育センター非構造部材耐震化事業実施設計業務

(一社) 長野県労働基準協会連合会

【成果等】

上記により耐震工事費の概算、補強・補修方法の提案を受 けたことから、令和4年度から耐震工事を実施する。

【今後の方向性】

令和4年9月から令和5年2月まで耐震工事を施工する。 工事期間中は使用が禁止されるため、事前に周知し、利用 者への対応を図る。

なお、その他社会体育施設の耐震化については千曲市耐震 改修促進計画に則り、次年度以降も順次進めていく。

事業名 給食センター管理運営事業 担当課名 第1学校給食センター

基本目標 I 施策 1-2

事業費 決 算 額(円) 272, 557, 615 節別内訳(円) 報酬 29, 440, 437 給料、 4, 466, 262 職員手当等 賃金 報償費 旅費 737,000 需用費 219, 072, 789 役務費 1, 403, 583 委託料 15, 208, 424 使用料及び 2,096,570 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 39, 850 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費 92,700

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	185, 793, 714
一般財源	8, 676, 390

主要な施策の成果等

【事業目的】

管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。

【実績】

総給食数 3,085 食 年間給食数 8 校 給食日数 206 日(センター稼働日)

アレルギー対応給食該当者72名

栄養士による食教育実施年間実施回数24 回学校給食訪問年間実施回数8 回全校集会講話年間実施回数4 回千曲市学校給食センター運営委員会1 回千曲市食物アレルギー対応専門部会1 回学校給食担当者会4 回

児童のセンター見学 (中止) PTA等による施設見学・試食 (中止) 親子試食会 (中止) 職場体験学習 (中止) 一般見学試食会 (中止)

- ・児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理 に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安 心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行っ た。
- ・新型コロナウィルス感染防止措置による学校・学年閉鎖、 各行事の見直しに伴う各校の給食日数の変更に対応してき た。

【成果等】

- ・調理従事者の衛生管理、施設・設備の維持管理を徹底し食中毒の防止に努めることができた。
- ・新型コロナの影響下で相当の制約はあったが、できる範囲 の中で栄養教諭が食教育に取り組み、児童生徒の食への正 しい理解の醸成に資することができた。
- ・アレルギー対応栄養士によりアレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。
- · R3 地域食材使用率 千曲市産 35.71%、県内産 12.56%
- ・残菜量 19.13 kg/日 (前年度 16.45 kg/日)

【今後の方向性】

安全・安心な学校給食を安定して提供するため、以下の項目について努めていくことが求められる。

- ・ 衛生管理の徹底及びレベルの向上
- ・異物混入などの給食事故防止への取り組み
- ・施設・機械設備・器具類の適切な維持管理と改善
- ・調理作業等における事故防止の推進
- ・地域食材の活用と利用率の向上
- ・増加するアレルギー対応について、安全確保のために取扱 指針の見直し

事 業 名 学校給食費徴収事務事業 担当課名 第1学校給食センター

基本目標 I 施策 1-2

事業費 決 算 額(円) 3, 703, 928 節別内訳(円) 1, 427, 484 報酬 給料、 154, 644 職員手当等 賃金 報償費 旅費 24,000 需用費 115, 500 役務費 281,600 委託料 412,500 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1, 288, 200 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	185, 793, 714
一般財源	86, 763, 901

主要な施策の成果等

【事業目的】

学校教職員の働き方改革の一環として、これまで学校で行っていた給食費の徴収事務を第1学校給食センターに移行する。

【実績】

新たに徴収管理システムを導入し、市が直接給食費の徴収 を行う。令和3年度より運用を開始。

口座振替による納入 約3,400件/月納付書による納入 約30件/月

現年分(令和3年度)

調定金額

第1学校給食センター 186,069,193円

第2学校給食センター 98,453,410円

収入済額

第1学校給食センター 185,754,719円

第2学校給食センター 98,235,581円

収入未済額

第1学校給食センター 314,474円

第2学校給食センター 217,829円

【成果等】

- ・市が一括して給食費の徴収を行ったことにより学校の事務 負担が大幅に軽減された。
- ・口座振替者に対しては、納期限の他、翌月中旬に再振替を 行い納入促進に努めた。
- ・振替不能者(未納者)には、毎月督促状を送付(約90件/月)
- ・未納者に対しては、数カ月に一度文書で納入依頼して未納 解消に努めた。長期未納者に対しては、2月に催告書を発 送した。

- ・長期滞納者の中には、市で何度通知や電話等をしても直接 連絡が取れない者もいる。学校と未納者の情報を共有して いるが、未納解消に向けどう連携していくかが課題であ る。
- ・操作マニュアル、未納対応マニュアルの作成が必要と考え ているが現状は未作成である。
- ・令和4年度からは、就学支援費(給食費相当分)により保護者負担分の全額を支給する。対象でない者、過年度に未納がある者は児童手当を活用しての納入を促す。引き続き給食費の無償化について検討する。

事業名 給食センター管理運営事業 担当課名 第2学校給食センター

基本目標 I 施策 1-2

事業費 決 算 額(円) 163, 033, 272 節別内訳(円) 報酬 14, 917, 082 給料、 2, 234, 669 職員手当等 賃金 報償費 旅費 334, 500 需用費 116, 082, 665 役務費 985, 036 委託料 7, 159, 010 使用料及び 3, 141, 625 賃借料 工事請負費 17, 811, 585 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 288, 200 負担金、補助 23,600 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費 55, 300

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	98, 235, 581
一般財源	64, 797, 691

主要な施策の成果等

【事業目的】

管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。

【実績】

1. 給食提供 5 校 (小学校 4 校、中学校 1 校) 給食数 1,657 食 給食日数 202 日 (アレルギー対応給食該当者 43 名)

2. 主な経過

施設見学・試食(保護者・一般)	中止
児童の施設見学	中止
親子給食会	中止
職場体験学習	中止
栄養教諭による食教育	6 回
学校給食訪問	13 回
全校集会講話	2 回
会議 学校給食担当者会	6 旦

- ・児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理 に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・ 安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を 行った。
- ・新型コロナウィルス感染防止措置による学校・学年閉鎖、 各行事の見直しに伴う各校の給食日数の変更に対応して きた。

【成果等】

- ・栄養士、調理従事者の努力により、安全な給食を提供する ことができた。
- ・コロナ禍のため、施設見学・親子給食会等が実施できなかったが、可能な範囲で学校給食訪問・食教育等を実施し、児童・生徒に対して食への関心・理解を深めることができた。
- ・アレルギー対応栄養士によりアレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。
- · R3 地域食材使用率 千曲市産 35.49%、県内産 16.82%
- ・残菜量 17.2 kg/日 (前年度 13.8 kg/日)

- ・衛生管理の徹底と工夫、設備・機械器具類の適切な維持管 理等により安全な給食の提供に努める。
- ・アレルギー対応給食について、安全確保のために取扱指針の見直しを行う。
- ・地域食材の活用と利用率の向上を図る。